

加西市の実質債務残高

加西市の借金（起債残高）は平成21年3月31日現在で502億円あり、市民一人あたり102万円です（右頁下段の通り）。これに土地開発公社や加古川西部土地改良区の債務残高などを含めた市の実質債務残高は548億円で、市民一人あたり112万円です。

4年間で約108億円（16.5%）の財政改善

16年度末（4年前 市長就任時）

656億円

市民一人あたりの実質債務



20年度末（21年3月31日現在）

548億円

約129万円（16年度末） → 約112万円（20年度末）

平成20年度 加西市の決算状況

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの市の収入と支出の実績を報告します。

一般会計、特別会計、企業会計の各決算は、市議会9月定例会に提案されており、決算特別委員会での審議を経て、12月定例会で決算認定の採決が行われる予定です。

① 一般会計

歳入総額	180億8,844万円
歳出総額	179億8,170万円
差引	1億674万円
翌年へ繰越	3,380万円
実質収支	7,294万円
(19年度実質収支)	6,054万円
単年度収支	1,240万円

歳入のうち、最も多いのは市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、68億円です。

景気の低迷により法人市民税が減少しましたが、一方で、家屋・償却資産の増加により固定資産税が増加し、前年（67億円）に比べて約1億円（1.5%）の増加となっています。

地方交付税・手数料・地方特例交付金・国庫支出金等が増加したものの、地方譲与税・県支出金・繰入金・諸収入等の減少により、合計で5億5百万円の減少となっています。

ただし、歳入のうち、繰入金は基金の取り崩しによるものであり、財政調整基金を3億8千万円取り崩しています。

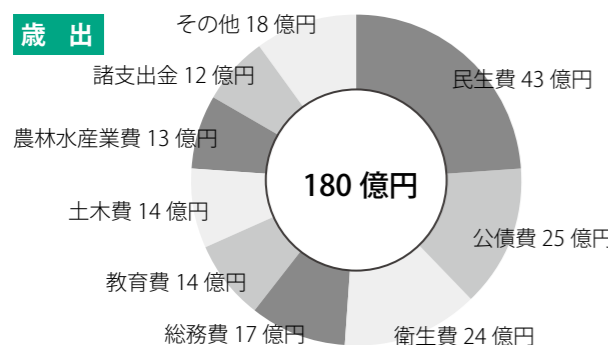
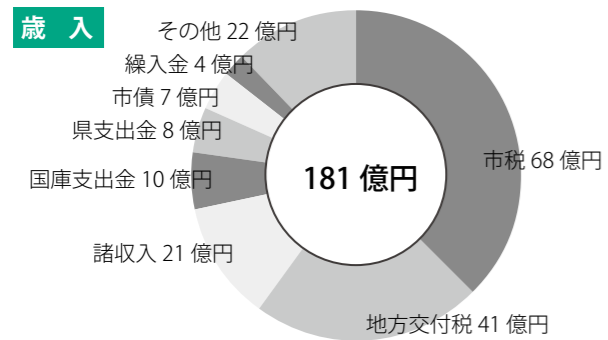
歳出では、扶助費・補助費等が増加したものの、人件費・物件費・普通建設事業費・公債費・繰出金・積立金等が減少し、合計で5億1千万円の減少となっています。

また歳入歳出差引額は、1億円で33年連続の黒字となり、20年度実質収支から19年度実質収支を差し引いた単年度収支は1千万円の黒字となっています。

市民一人あたりに使われた金額

民生費	8万8,576円
(高齢者・障害者・子どもの福祉等)	
公債費	5万1,118円
(借金の返済や利子の支払等)	
衛生費	4万8,822円
(健康の保持、ごみ処理等)	
総務費	3万4,041円
(戸籍、徴税、防犯等)	
教育費	2万9,490円
(学校施設、スポーツ振興等)	
土木費	2万8,772円
(道路、市営住宅の維持管理等)	
農林水産業費	2万6,186円
(農業振興、山林の管理等)	
諸支出金	2万3,716円
(公社貸付金、基金への積立等)	
その他	3万6,402円

合計 36万7,123円



② 特別会計

会計名	歳入	歳出	収支
【有線放送電話特別会計】	5,213万円	1,084万円	4,129万円の黒字
【国民健康保険特別会計】	48億1,885万円	47億5,755万円	6,130万円の黒字
【介護保険特別会計】	34億848万円	33億3,607万円	7,241万円の黒字
【後期高齢者医療特別会計】	4億1,383万円	4億50万円	1,333万円の黒字
【老人保健医療特別会計】	5億1,472万円	5億3,425万円	1,953万円の赤字
【公園墓地整備事業特別会計】	3,647万円	277万円	3,370万円の黒字

③ 企業会計

水道事業会計

経営成績を示す収益的収支は、下水道事業関連の費用が減少し、1億4千万円の純利益を計上。将来の経営活動に備えて行う建設改良等に係る資本的収支は1億1千万円の不足となり、内部留保資金（現金支出を伴わない減価償却費等）等で補てんしました。今後、水道事業では下水道工事に伴わない老朽管更新や耐震化のために多額の費用が必要となることが予想されます。

収益的収入	12億4,668万円
支出	11億990万円
資本的収入	1億3,441万円
支出	2億4,622万円
資産	119億3,691万円
負債	1億6,485万円
資本	117億7,206万円
うち借入資本金（企業債）	16億9,943万円

下水道事業会計

収益的収支は、平成20年4月に使用料の30%値上げを行ったことにより事業収益のうち使用料収入が増加、費用では企業債利息などが大きな負担となり7千万円の純損失が生じましたが、損失額は昨年比で1億4千万円減額しました。資本的収支についても、7億7千万円の不足となりました。今後もコスト削減を図り、経営健全化の取組みを進めていきます。

収益的収入	19億9,542万円
支出	20億6,189万円
資本的収入	23億7,114万円
支出	31億4,150万円
資産	533億3,037万円
負債	16億8,023万円
資本	516億5,014万円
うち借入資本金（企業債）	278億8,846万円

病院事業会計

収益的収支は、収入では総患者数が減少したものの診療単価の増額等により、収益全体で増収となりました。一方、支出では医業外費用が減少したものの、医業費用が増加し、本年度は3億円の純損失となりました。資本的収入については、1億1千万円の収入不足が生じましたが、内部留保資金等で補てんしました。

収益的収入	56億7,796万円
支出	59億7,919万円
資本的収入	3億8,615万円
支出	4億9,222万円
資産	52億8,638万円
負債	9億578万円
資本	43億8,060万円
うち借入資本金（企業債）	37億1,829万円

農業共済事業会計

農業共済事業は、農業災害補償法に基づき、農作物、家畜、畑作物、園芸施設の自然災害等による損失を補てんするもので、各共済勘定で、純利益を計上しています。

収益的収入	1億1,490万円
支出	1億793万円
資産	1億9,331万円
負債	1億1,046万円
資本	8,285万円

※公営企業の企業債残高については、地方公営企業法に基づき借入資本金として資本に計上しています。

■起債残高による市の借金 4年間で約86億円（14.6%）の財政改善

16年度末（4年前 市長就任時）

588億円

市民一人あたりの借金



20年度末（21年3月31日現在）

502億円

約116万円（16年度末） → 約102万円（20年度末）

【問合先】 財政課 ☎8710 ※詳細は市ホームページに掲載しています。